

日本学術会議社会学委員会ジェンダー政策分科会（第24期・第3回）

（2018年10月18日 於日本学術会議 6-A(1) 会議室 15:00-17:20）

議事要旨

出席

足立眞理子 伊田久美子 伊藤公雄 加野芳正 木本喜美子 谷口洋幸 友枝敏雄
本田由紀 安河内恵子

欠席者

大石亜希子 遠藤薫 後藤弘子 糠塚康江 安井眞奈美

議題と決定事項

前回の議事要旨を確認したうえで以下の議事に入った。

（1）国連女性差別撤廃委員会対日審査勧告についての状況報告

大村恵美弁護士より、国連人権理事会に設けられたUPR(普遍的定期的審査)に対する、日弁連の取組と日本政府の対応についての紹介がなされ、鈴木隆文弁護士より、女性差別撤廃条約(CEDAW)に対する日弁連の取組が紹介された。

両弁護士よりの詳細な報告をふまえて、質疑応答を行った。

（2）分科会の今後の進め方について

分科会として意思の表出をするにあたり、焦点をあてるべきイシューは何かについて、議論を行った。

（3）次回分科会の日程について

あらためて日程調整を行うこととした。